

奈良県保育士実態調査へのご協力をお願い

(保育施設用)

日頃より、保育行政の推進に御協力を賜り誠にありがとうございます。

奈良県では、保育所待機児童の解消をはじめ今後も見込まれる保育ニーズの増大に対応するため、保育士資格をお持ちでいながら就労されていない「潜在保育士」の方への再就職や、保育士として就労されている方の職場定着のための支援が重要な課題となっています。

このため、県内の保育施設における保育士の就労状況等を調査することにより、保育士確保対策の参考とすることといたしました。

本調査は、奈良県内の私立保育所、公立保育所及び認可外保育施設を対象に行うものです。

なお、先駆的な取り組みをされている保育所については、調査票回収後にヒアリング調査を予定しております。

皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年9月

奈良県知事 荒井 正吾

(回答の方法)

1. 回答は、本年9月1日現在の状況をご記入ください。
2. 回答は、選択肢の中から当てはまる番号に○を付けてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合がありますので、質問文をよくお読みになりご回答ください。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をカッコ内にできるだけ具体的に書いてください。
3. 回答が終わりましたら、記入漏れや記入間違い等がないか確認し、平成25年9月20日(金)までに、同封の返信用封筒（切手は不要）でご返送ください。

※ご回答いただきました内容は集計し取り扱いますので、貴施設名を公表することは一切ございません。

(調査に関する問い合わせ先)

奈良県 健康福祉部 こども・女性局 子育て支援課 保育・放課後児童対策係
電話 0742-27-8604

◎貴施設の名称、電話番号等をご記入ください。なお、電話番号は必ず保育所の代表番号をご記入ください。※ヒアリング調査において使用しますのでお手数ですが以下の項目をご記入ください。

貴施設名			
記入者の 職名・氏名		電話番号	() -

問1 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

①施設の所在市町村	() 市・町・村	
②施設の種類 (番号に○)	認可保育所 (認定こども園含む)	1 公営 2 公設民営 3 民設民営
	認可外保育施設	4 認可外保育施設 (5～7を除く) 5 事業所内保育施設 (6を除く) 6 院内保育施設 7 へき地保育所 8 その他 ()
③設置主体	1 市町村 2 社会福祉法人 3 宗教法人 4 医療法人	5 株式会社 6 個人 7 その他 ()
④運営主体	1 市町村 2 社会福祉法人 3 宗教法人 4 医療法人	5 株式会社 6 個人 7 その他 ()
⑤設置年月	昭和・平成 () 年 () 月	

問2 貴施設の定員、現員とその内訳についておうかがいします。

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	名	名	名	名	名	名	名
現員	名	名	名	名	名	名	名

※現員については、本年4/1現在の年齢区分における9/1現在の人数を記入してください。

貴施設の職員についておうかがいします。

問3 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。

職種	保育士 (資格あり)		保育職員 (資格なし)		保健師・ 看護師		栄養士・ 管理栄養士		調理員		事務職員		その他職員	
	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規
常勤 (人数)	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
非常勤 (人数)	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名

※常勤＝一日6時間以上かつ月20日以上

※上記に無い職種は全て「その他職員」に含めてください。ただし、専任所長は記載の必要はありません。

問4 貴施設の正規職員（常勤）である保育士（主任を含む）についておうかがいします。

週あたりの平均的な（時間外労働を含む）実働時間は何時間ですか。（○は1つ）

1 週30時間～40時間未満	3 週50時間～60時間未満
2 週40時間～50時間未満	4 週60時間以上

問5 貴施設における正規職員（常勤）の待遇について、該当する数字をご記入ください。（記入にあたっては、下記の注意書きを参照してください）

※当設問のご回答は、今後、保育所職員の労働条件の向上をはかるための基礎データとして活用させていただきます。趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等(年間) (例：538万円)
①初任保育士			万円
②保育士（初任・主任を含む）	歳	年 月	万円

注1) ②保育士（初任・主任を含む）には、施設長は除いて記入してください。年齢と勤続年数は平均値をご記入ください。（1）平均年齢は小数点以下第2位を四捨五入してご記入ください。

注2) (2) 勤続年数とは、貴施設を運営する法人等における勤続年数とします。公立保育所の場合は、当該自治体における保育所での勤務経験年数（他保育所での勤務も含む）をお答えください。

注3) 初任保育士の（3）給与等については、貴施設の給与表にある短大卒新任保育士の額を用いて、およその年間額をお答えください。

注4) ②保育士（初任・主任を含む）の（3）給与等は、賞与を含む昨年の給与支給総額を計算してください。なお、社会保険料、所得税等の控除前の額となります。

問6 貴施設の非正規職員（常勤）についておうかがいします。

問6-1 雇用形態が非正規（常勤）である保育士（資格あり）を配置していますか。（○は1つ）

1 配置している	2 配置していない ---▶ 問7へ
----------	--------------------

問6-2 問6-1で「1. 配置している」と回答した方におうかがいします。

貴施設に勤める非正規職員のうち、保育士資格を持つ保育士について、雇用形態別に(1)平均年齢、(2)勤続年数、(3)給与等をお答えください。（数字は小数点以下第1位を四捨五入して記入してください。）※なお、回答にあたっては問5の注）を参考にしてください。

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等(年間) (例：538万円)
①直接契約 パート・アルバイト・ 契約職員・嘱託職員	・ 歳	年 月 日	万円
②間接契約 派遣職員	・ 歳	年 月 日	

保育職員の職場定着に向けた取組状況についておうかがいします。

問7 貴施設で、昨年度中に自己都合で退職した保育士がいる場合、人数をご記入ください。

1 正規	人	2 非正規	人（うち常勤 人・うち非常勤 人）
------	---	-------	-------------------

問8 貴施設で、現在、保育士の職場定着のために取り組んでいることは何ですか。（○はあてはまるものすべて）

問9 貴施設で、今後、保育士の職場定着のために取り組みたいと思うことは何ですか。（○はあてはまるものすべて）

- 1 給与水準の引き上げ
- 2 給与体系の構築
- 3 労働時間の短縮
- 4 休暇を取得しやすい環境の整備
- 5 職員の子育て支援体制の充実
- 6 キャリアアップの仕組みの構築
- 7 施設外研修受講環境の改善
- 8 施設内研修内容の充実
- 9 作成書類の軽減、事務作業の効率化
- 10 福利厚生の実施
- 11 腰痛対策
- 12 メンタルヘルス対策
- 13 パワーハラスメント防止策の実施
- 14 セクシャルハラスメント防止策の実施
- 15 相談窓口の設置
- 16 社会的な評価の向上
- 17 職場のなごやかな雰囲気づくり
- 18 職員間のミーティングの実施
- 19 その他（ ）
- 20 特になし

- 1 給与水準の引き上げ
- 2 給与体系の構築
- 3 労働時間の短縮
- 4 休暇を取得しやすい環境の整備
- 5 職員の子育て支援体制の充実
- 6 キャリアアップの仕組みの構築
- 7 施設外研修受講環境の改善
- 8 施設内研修内容の充実
- 9 作成書類の軽減、事務作業の効率化
- 10 福利厚生の実施
- 11 腰痛対策
- 12 メンタルヘルス対策
- 13 パワーハラスメント防止策の実施
- 14 セクシャルハラスメント防止策の実施
- 15 相談窓口の設置
- 16 社会的な評価の向上
- 17 職場のなごやかな雰囲気づくり
- 18 職員間のミーティングの実施
- 19 その他（ ）
- 20 特になし

問10 貴施設において、保育士を安定的に雇用していくために望む公的支援は何ですか。(〇はあてはまるもの5つまで)

1 職員の給与改善に関する公的支援の充実	8 教育・研修制度の充実
2 非正規から正規への雇用を安定的に継続する	9 相談支援体制の充実
3 正規と非正規の均衡(均等)待遇の促進	10 技術・技能評価制度の整備
4 社会保険・雇用保険の事業主負担の軽減	11 保育士の社会的評価を高める取り組み
5 保育士の人材バンクの充実	12 助成金や法令等のPR・解説の充実
6 保育・介護サービスなどの福祉制度の充実	13 その他()
7 教育訓練に関する助成金制度の充実	

保育士の確保に向けた採用の状況についておうかがいします。

問11 昨年度の(1)「新卒」及び(2)「新卒以外」の採用状況について、該当する数字をご記入ください。(記入にあたっては、下記の注意書きを参照してください。)

	採用予定数		(1) 新卒			(2) 新卒以外
			採用数	うち県内養成施設	うち県外養成施設	採用数
正 規	人		人	人	人	人
非正規	常 勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
計	人		人	人	人	人

注1) 採用予定数について、あらかじめ正規・非正規の内訳が無い場合は、計のみご記入ください。

注2) (1)「新卒」は、保育士養成施設からの4月採用のみについてご記入ください。

注3) (2)「新卒以外」は、上記以外の全てについてご記入ください。(例として、4月における既卒者の採用や年度途中における新卒者の採用等)

問11-1 昨年度、貴施設において、(1)「採用したかった区分」及び(2)その「理由」について、選択肢より1つだけ選び記入してください。

(1)「採用したかった区分」 (〇は1つ)

1 新卒の正規	2 新卒の非正規(常勤)	3 新卒の非正規(非常勤)
4 新卒以外の正規	5 新卒以外の非正規(常勤)	6 新卒以外の非正規(非常勤)

(2) その「理由」 (〇は1つ)

1 経営上、合理的だから(賃金水準、雇用形態・条件等)
2 長期間就業してほしいから
3 保育を含め様々な経験や知識を備えているから
4 子どもの希望や保護者の意向に合うと考えられるから
5 その他()

問11-2 昨年度の採用において、募集に対する応募が、「なかった」または、「募集より応募が少なかった」場合があれば、選択肢より選び記入してください。(○はあてはまるものすべて)

1 新卒の正規	2 新卒の非正規 (常勤)	3 新卒の非正規 (非常勤)
4 新卒以外の正規	5 新卒以外の非正規 (常勤)	6 新卒以外の非正規 (非常勤)

問12 どのようなスタッフを求めているかについて、選択肢より3つまで選び記入してください。

(1) 新卒での採用 () () ()

(2) 新卒以外での採用 () () ()

1 常勤スタッフ	4 正規職員の休業代替スタッフ (例:産休、病休)
2 早番・遅番ができるスタッフ	5 担任補助・加配
3 正規職員の休暇代替スタッフ	6 その他 ()

問12-1 採用する保育士に求める技術・知識についておうかがいします。(○は3つまで)

1 保育士としての基本的な実務経験	7 最近の子育て事情
2 熟練した実務経験	8 パソコンの基本的な操作
3 施設管理経験	9 社会性・一般常識
4 乳児保育の経験	10 コミュニケーション能力
5 集団保育の経験	11 その他 ()
6 保育に関する幅広い知識・実技能力	12 施設内で養成するため何も求めない

問12-2 新卒以外で採用した保育士の経験についてお答えください。(○はあてはまるものすべて)

1 保育士経験者 (実務経験年数を下記から選んでください)						
<table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>1 1年未満</td> <td>2 1～3年未満</td> <td>3 3～5年未満</td> </tr> <tr> <td>4 5～10年未満</td> <td>5 10年以上</td> <td></td> </tr> </table>	1 1年未満	2 1～3年未満	3 3～5年未満	4 5～10年未満	5 10年以上	
1 1年未満	2 1～3年未満	3 3～5年未満				
4 5～10年未満	5 10年以上					
2 保育士未経験者						
3 子育て経験者						
4 一般企業経験者						
5 保育・教育関係の職業経験者 (ベビーシッター、小学校教諭など)						
6 職務経験がない						
7 その他 ()						

問12-3 採用に至らない方、あるいは採用するには心配な方はどんな方ですか。(○は3つまで)

1 保育士としての基本的な実務経験がない	7 最近の子育て事情を知らない
2 熟練した実務経験がない	8 パソコンの基本的な操作ができない
3 施設管理経験がない	9 社会性・一般常識がない
4 乳児保育の経験がない	10 コミュニケーション能力がない
5 集団保育の経験がない	11 その他
6 保育に関する幅広い知識・実技能力がない	()

問12-4 (1) 実施している求人手段をお答えください。(○はあてはまるものすべて)
 (2) その効果について4段階で評価してください。(○はそれぞれ1つずつ)

	(1) 実施して いるもの	(2) 効果に対する評価			
		高い	やや 高い	やや 低い	低い
①ハローワーク	1 →	1	2	3	4
②求人広告(媒体名:)	2 →	1	2	3	4
③県内の保育士養成施設への求人	3 →	1	2	3	4
④県外の保育士養成施設への求人	4 →	1	2	3	4
⑤自施設・自社の掲示板またはHP	5 →	1	2	3	4
⑥人材派遣・紹介会社に依頼	6 →	1	2	3	4
⑦就職説明会	7 →	1	2	3	4
⑧友人・知人の紹介	8 →	1	2	3	4
⑨退職した職員への情報提供	9 →	1	2	3	4
⑩その他 ()	10 →	1	2	3	4

問12-5 現在、保育士の採用に困難を感じていますか。(○は1つ)
 その理由はどんなことですか。

1 はい (理由:) 2 いいえ

潜在保育士(※)についておうかがいします。

※本調査では、保育士資格を有していながら、連続した5年以上の期間にわたり保育士として勤務していない方(就労経験の無い方を含む)を「潜在保育士」として扱います。

問13 貴施設において、直近の3年間(平成22年4月以降、現在まで)で潜在保育士を雇用したケースがありますか。(○は1つ)

1 はい ----▶ 問13-1へ 2 いいえ ----▶ 問14へ

問13で「1. はい」と回答した施設におうかがいします。

雇用した潜在保育士に関し具体的にお答えください。なお、複数名いる場合は直近の方に関してお答えください。

問13-1 雇用した潜在保育士の雇用形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 正職員(「短時間正職員」を除く) 4 嘱託
2 短時間正職員 5 派遣社員
3 パート・アルバイト 6 その他 ()

問13-2 雇用した潜在保育士は次のうちどのスタッフですか。(○は1つ)

1 保育スタッフ (担任)	4 職員の休日代替スタッフ
2 保育スタッフ (担任以外)	5 その他 ()
3 早番・遅番スタッフ	

問13-3 性別についてお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

問13-4 年代についてお答えください。(○は1つ)

1 20 歳代	4 50 歳代
2 30 歳代	5 60 歳代
3 40 歳代	6 それ以上

問13-5 雇用した潜在保育士の実務経験等についてお答えください。(○はあてはまるものすべて)

1 保育士経験者 (実務経験年数を下記から選んでください)		
↳ 1 1年未満	2 1～3年未満	3 3～5年未満
4 5～10年未満	5 10年以上	
2 保育士未経験者		
3 子育て経験者		
4 一般企業経験者		
5 保育・教育関係の職業経験者 (ベビーシッター、小学校教諭など)		
6 職務経験がない		
7 その他 ()		

問13-6 潜在保育士の雇用の際、工夫したことはありますか。(○はあてはまるものすべて)

【雇用条件】	1 給与の引き上げ
	2 勤務時間の対応 (短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等)
	3 雇用形態の対応 (パート・アルバイト等希望の雇用形態での採用等)
	4 再雇用制度 (退職者が一定の条件を満たせば復職を認める制度) の整備
	5 その他 ()
【職場環境】	6 就業のための実務研修制度
	7 人間関係 (例: 潜在保育士への積極的サポート)
	8 相談窓口の設置
	9 キャリアアップの仕組み
	10 事務作業の効率化
	11 その他 ()

→問15へお進みください。

問14 問13で「2.いいえ」と回答した施設におうかがいします。

雇用しない（またはできない）理由は何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 人員が足りている |
| 2 | 経営的な余裕がない |
| 3 | 施設の雇用条件、形態等と応募者の希望とがマッチしない ---▶問14-1へ |
| 4 | 保育士雇用へ向けた財政支援（補助金）がない |
| 5 | 求人したいがノウハウがない |
| 6 | その他（) |

問14-1 問14で「3 施設の雇用条件、形態等と応募者の希望とがマッチしない」と回答した施設におうかがいします。

雇用するにあたって障害となっているものは何ですか。（○は3つまで）

- | | | |
|---------------|----|----------------------------------|
| 【雇用条件】 | 1 | 給与の水準 |
| | 2 | 勤務時間の対応（短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等） |
| | 3 | 雇用形態の対応（パート・アルバイト等希望の雇用形態での採用等） |
| | 4 | 再雇用制度（退職者が一定の条件を満たせば復職を認める制度）の整備 |
| | 5 | その他（) |
| 【職場環境】 | 6 | 就業のための実務研修制度 |
| | 7 | 人間関係（例：潜在保育士への積極的サポート） |
| | 8 | 相談窓口の設置 |
| | 9 | キャリアアップの仕組み |
| | 10 | 事務作業の効率化 |
| | 11 | その他（) |

→問15へお進みください。

すべての施設におうかがいします。

問15 今後、潜在保育士を雇用するにあたって、効果があると思われる取組についてお答えください。（○は3つまで）

- | | | |
|---------------|----|----------------------------------|
| 【雇用条件】 | 1 | 給与の引き上げ |
| | 2 | 勤務時間の対応（短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等） |
| | 3 | 雇用形態の対応（パート・アルバイト等希望の雇用形態での採用等） |
| | 4 | 再雇用制度（退職者が一定の条件を満たせば復職を認める制度）の整備 |
| | 5 | その他（) |
| 【職場環境】 | 6 | 就業のための実務研修制度 |
| | 7 | 人間関係（例：潜在保育士への積極的サポート） |
| | 8 | 相談窓口の設置 |
| | 9 | キャリアアップの仕組み |
| | 10 | 事務作業の効率化 |
| | 11 | その他（) |

問16 今後、保育士の雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(○は3つまで)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 潜在保育士の再就職に向けた研修の実施 -----▶ 問16-1へ |
| 2 | 再就職意向のある方を対象にした就職相談会の実施 |
| 3 | 潜在保育士に登録してもらい、県内の保育所に斡旋する仕組み(人材バンク) |
| 4 | 潜在保育士の再就職を支援するコーディネーターの配置 |
| 5 | ファミリーサポート利用促進 |
| 6 | 常勤職員条件の緩和(ワークシェアでの常勤職員カウント) |
| 7 | その他() |

問16-1 問16で「1 潜在保育士の再就職に向けた研修の実施」と回答した施設におうかがいします。
潜在保育士を現場に受け入れる際に、受けさせたい研修をお選びください。(○は5つまで)

- | | | | |
|----|----------------|----|---------------------|
| 1 | 保育実技 | 11 | 保護者とのコミュニケーション |
| 2 | 事故防止・安全対策 | 12 | 児童の家族への支援について |
| 3 | 救命救急 | 13 | 面接準備 |
| 4 | 小児保健 | 14 | 社会人としてのマナー |
| 5 | 衛生管理 | 15 | クレーム対応 |
| 6 | 発達心理学 | 16 | ITに関する知識・技術 |
| 7 | 保育所保育指針 | 17 | 保育施設での見学実習 |
| 8 | 食育 | 18 | 保育計画・保育日誌・お便り帳等の書き方 |
| 9 | 職員間のコミュニケーション | 19 | 児童福祉行政・制度に関する知識 |
| 10 | 子どもとのコミュニケーション | 20 | その他() |

問17 潜在保育士を雇用することによるメリットは何だと思えますか。

① 潜在保育士が持つ特性では(○は3つまで)

- | | | | |
|---|----------------|---|-------------------|
| 1 | 保育士経験がある | 5 | モラルと倫理をわかまえている |
| 2 | 他業種での社会人経験がある | 6 | コミュニケーション能力に長けている |
| 3 | 子育て経験がある | 7 | その他() |
| 4 | 社会性と一般常識に優れている | | |

② 施設に与える影響では(○は3つまで)

- | | | | |
|---|-------------|---|------------|
| 1 | 即戦力として期待できる | 4 | 経営効率が上がる |
| 2 | シフトが組みやすくなる | 5 | 施設の雰囲気が変わる |
| 3 | 保育の質が向上する | 6 | その他() |

問18 潜在保育士を雇用することによるデメリットは何だと思えますか。

① 潜在保育士が持つ特性では（○は3つまで）

1 保育士経験がない	4 モラルと倫理をわきまえていない
2 過去の保育士経験が障害になる	6 コミュニケーション能力に乏しい
3 社会性と一般常識に欠けている	7 その他（ ）

② 施設に与える影響では（○は3つまで）

1 即戦力として期待できない	4 経営効率を下がる
2 シフトが組みづらくなる	5 施設の雰囲気が変わる
3 保育の質が低下する	6 その他（ ）

問19 保育士資格所有者が、保育士として就労しない理由は何だと思えますか。

① 個人の状況では（○は3つまで）

1 家庭との両立が難しい	5 自分の適性・能力への不安
2 自身の健康・体力	6 近い将来結婚、出産を控えている
3 給料が生活維持に足りない	7 その他（ ）
4 (保育士以外の)他の職種への関心	

② 職場環境では（○は3つまで）

1 人間関係
2 職場における本業以外の業務負荷
3 雇用者側の都合（施設の閉鎖・統廃合等）
4 雇用条件に不満
5 教育・研修体制に不満
6 理念・方針への不満
7 将来への展望、昇給・昇進への道筋が見えない（キャリアの問題）
8 責任の重さ・事故への不安
9 IT化についていけない
10 その他（ ）

問20 保育行政などについて、ご意見・ご提案などがございましたら、ご自由にご記入ください。

--

質問は以上です。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

お手数ですが、調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、9月20日（金）までに返送してください。